行動計量学会通

日本行動計量学会事務局
〒106 東京都港区南麻布4−6−7
統計数理研究所　村上研究室

統計を恐れず，行動計量という海へ出よう

宮原英夫

ここ十数年の間に，データの統計処理が正しくなされていることを論文受理の必要条件とする医学雑誌が増えてきた．医学に於ける統計的考え方の重要性を長年主張してきた者として，この流れを歓迎しているが，一方で，統計的観点からの機械的なスクリーニングが，卓抜なアイデアを自由に踊らせる研究者の活躍の舞台を狭めているのではないかと心配している．

かれこれ半世紀も前，まだ20代，30代であった先輩たちが書いた論文を読むと，彼らは，わずかの自験例をもとに，大胆に自分達の理論を展開し，今はこんなことしかできないが，大量のデータを高速に処理できるコンピュータが普及してくれば，これもできるだろう，あれもできるだろうと大きく夢を膨らませている．現在の眼で眺めると，彼らの統計モデルから当時下した結論などとても導けそうもないが，彼らの楽観的な見通しが，私たち後輩を勇気づけ，その後の研究の方向付けを行なってくれたのである．

現在の論文はどうであろうか．その多くが，目的，対象，方法，成績，考案，結論と形式を整え，統計的な処理もきちんとなされている．確かに，薬物投与後の血圧の時間的推移を見るといった実験的研究では，この様な処理が望ましいだろう．しかし，人間の行動を対象とした研究では，統計処理の枠組みの中に収まりきらない要素が，一つ，二つと切り捨てられて行き，それにつれて論文を書き始めたときには恐らく残っていた研究者の個性とか熱気がいつの間にか薄まり，どれもこれも似かよった論文に変質して行く．

行動計量学が対象とする大海は驚くほど広く，深い．宗教，政治，経済，文学，心理，教育，医療，福祉，倫理など人間生活に関連したあらゆる分野が広がっている．大会の演題や，論文誌のタイトルをみると，統計が苦手な研究者が尻込みしたくなる程，統計手法一色であるが，裏を返せば，現象をどの様に取り扱ったらよいのかよく分からず，試行錯誤を繰り返していることの現れと言うことも出来る．夢や冒険心に溢れた若い研究者は，統計処理に気を取られずに，どんどん大海に乗り出し，肌で感じた海の楽しさ，神秘さを，率直に語ってもらいたい．その過程で統計手法が真の価値を発揮し，場合によっては新しい手法が生まれることになる．

私のまわりには，看護，リハビリ，福祉，伝統医学など，医療関連の領域で，アイデアに富んだ若い研究者たちが溢れている．行動計量という学際領域が，これらの人材に格好のテーマを提供してくれることを折に触れて宣伝しているので，今年こそは，多数の仲間が，希望に燃えて海に飛び出し，新しい世界を開いてくれるに違いないと期待している．会員諸兄姉のご助力を今からお願いしておきたい．

（みやはら　ひでお，日本行動計量学会理事，北里大学医学部）

第24回大会のお知らせ

日本行動計量学会の第24回大会は本年9月6日（金）から9月9日（月）までの4日間にわたり，千葉の幕張メッセで開催されます．今回の大会は，初めての試みとして，日本統計学会との同時開催という形で行われます．9月6日にはチュートリアル・セミナーが実施され，後の3日間は例年通り特別講演，シンポジウム，特別セッション，一般研究発表に割り当てられます．

チュートリアル・セミナーとしては「教育と企業におけるテスト情報利用の最新技術」および「ニューラルネットワーク」の二つが予定されています．特別講演は，行動計量学会と統計学会の共催として，林知己夫，竹内　啓の両氏によって行なわれます．それに引き続き，一般公開という形での共同シンポジウムが開かれることになっています．さらに，特別セッションとして，「社会調査の精度」，「交通計画」，「意思決定」，「あいまいデータの統計処理」，「入試データの統計解析」，「共分散構造分析」，「日本語」，「看護学」，「臨床試験」などが予定されています．また，ニューラルネットに関するシンポジウムも計画されています．

以上のように，学際性を特徴とする行動計量学会にふさわしい多彩なプログラムであると同時に，行動計量学会への参加者は同時開催の統計学会のセッションにも無料で参加できることになっています（ただし抄録集は別途購入）．会員の皆様のご講演の申込およびご参加を心よりお待ち申し上げます．

第24回大会に関するお問い合わせは下記の通りです．

照会先：〒263 千葉市稲毛区弥生町 1-33
千葉大学文学部　宮埜研究室
日本行動計量学会第24回大会事務局
TEL : 043-290-2276
FAX : 043-290-2278

学会からのお知らせ

○「行動計量学」の投稿規定と執筆要項の改訂について

和文誌編集委員長　岡太彬訓

「行動計量学」の投稿規定と執筆要項を改訂いたしました．新しい投稿規定と執筆要項は，昨年11月に発行された第22巻第1号（通巻42号）の表紙の裏に記載されております．

投稿規定における主な変更は，従来必ずしもはっきりしていなかった研究ノートと資料の性格を明確にして，両者とも論文として位置づけたことです．また，審査手続きの便宜をはかり，審査を迅速に進められるように，論文の投稿の際の部数を3部から4部に増やしました．

執筆要項は，ワープロによる執筆での便宜をはかること，および，引用文献ならびに参考文献の書き方を若干変更し，可能な限り欧文誌 Behaviormetrika と形式を統一あるいは，形式の精神を統一するよう変更いたしました．

「行動計量学」への皆様の活発なご投稿をお待ちいたします．

○ Behaviormetrika「共分散構造分析の理論と応用」特集号のお知らせ

欧分誌編集委員長　繁桝算男
編集委員　狩野　裕

欧文誌 Behaviormetrikaでは，新しい試みとして特集号 (special issue) を企画しております．最初の企画は "Categorical Data Analysis with Latent Variables" として入稿を終え，近々，発行される予定です．

次の特集号の企画として

"Covariance Structure Analysis:
Theory and Applications"（仮題）

を組むことになりました．現在，外国からも著名な計量心理学者や統計学者が投稿の

意向を伝えてきています．興味のある方は，狩野まで至急ご連絡の上，1996 年6月1日（土）までに，狩野宛原稿を送付してください．原稿は Behaviormetrika 投稿規程にそって作成してください．通常の投稿論文と同様，複数の査読者による審査の上掲載の採否が決定されます．

連絡先：
〒305 つくば市天王台 1-1-1
筑波大学数学系
狩野　裕
TEL : 0298-53-4229 (DI)
FAX : 0298-53-6501
e-mail : kano@math.tsukuba.ac.jp

○ 日本行動計量学会講習会のお知らせ

テーマ：共分散構造分析早分かりセミナー

講　師：柳井晴夫，豊田秀樹，前田忠彦

期　日：5月中旬

会　場：東京都内（未定）

参加費：2万円

照会先：〒171 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学社会学部
岡太彬訓

会員便り

近　況

東京大学教育学研究科　市川伸一

数理的な理論を，日常場面での思考の道具としてどう活かせるかということに興味をもってきました．人間が素朴にもっている論理や確率・統計概念がどのようなものか，それを洗練されたものにするのに，理論の理解がどのように役に立つのかというテーマで，数理科学と認知心理学と教育方法学の接点といえるかと思います．

ここ数年考えてきたことを，「確率の理解を探る－３囚人問題とその周辺－」（共立出版），「推論と討論の心理学」（中公新書）という２冊の本にまとめているところです．どちらも，そんなにカタい本ではありませんので，ぜひご一読いただきたいのですが，原稿ができあがらないことには，…という感じで困っています．

近　況

健康科学研究所　大島正光

私は昨年財団法人医療情報システム開発センター理事長を退職し，健康科学研究所の所長に移りました．住所は港区赤坂 2-10-9，ランディック第2赤坂ビル6階で，電話は 03 (3587) 0283，Fax は 03 (3587) 0284 です．近くにおいでの際にはどうぞお立ち寄り下さい．

貴学会のますますの発展を祈念致します．

近　況

法政大学　陸　正

昨年5月末，3年8か月のアメリカ生活にわかれをつげ，日本にもどった．9月から法政大学で製品開発論を担当し，知識を補完しながら，レジュメをつくり，講義にあたった．このプロセスで，39年のビジネス生活の知識経験的，精神的な精算をひとまず終えたと思う．当面，テストマーケティングの日米比較研究に力を注ぎたいと考えている．またこの作業の副産物として，日米市場調査事情を軽い読み物風にときどきの気分転換に書きついでいきたいとも考えている．

近　況

慶應義塾大学総合政策学部　片岡正昭

昨年9月から慶應義塾大学総合政策学部に奉職し，本業の政治学・地方政府論を研究・教育するかたわら，統計解析や政策モデル技法関係の科目を担当しています．慶應の湘南藤沢キャンパス（ＳＦＣ）はイン

ターネットで注目されていますが，私の教育上の役割は，ここで政策分析系の統計手法とモデリングを教え，学生諸君の数量的な政策分析能力を鍛えることが一つの柱です．政策分析系の統計学といえば，数理よりもむしろ政策的なセンスに裏打ちされた実践能力が重視されるので，理論からデータ・ハンドリングまでの幅広い内容を教える必要があります．ＳＦＣの各種統計データベースの拡張，とくに日本では手薄な政治学系統のデータベースの構築が今後の一つの課題です．

近　況

北海道大学工学部　今井英幸

学生実験の課題に使うために「ナンバーズ」（数字選択式全国自治宝クジ）の当選番号を調べている．自分で番号を選べるため，ナンバーズの「必勝法」，「攻略法」といった雑誌の記事や単行本も見かける．これらの「必勝法」の中には，かなり胡散臭いものも多いが，実際に検定をしてみると一概に否定できないものもいくつかある．ナンバーズの当選番号には一定の傾向があるのだろうか．学生実験のために始めたのだが，最近では調べるのが面白くなってしまった．この宝クジは一度も買ったことがないのだが，毎週２回の抽選結果の発表を楽しみにしている．

会議記録

平成7年度　第3回理事会議事録

・日　時：平成7年9月12日（火）
　　午後5時30分～7時
・場　所：関西大学100周年記念会館
・出席者：浅野，岩崎，江川，岡太，久保，後藤，斉藤，繁桝，清水，馬場，肥田野，柳井，吉野，村上(征)

１．行動計量学会総会について

・総会次第（案）について検討した．
・大会初日およびチュートリアルセミナーの参加者の報告があった．

２．第24回大会について

・千葉大会の本学会の実行委員会は池田，岡太，繁桝，村上の４名の理事で編成し，これに杉山，久保の2名の理事を加えてプログラム編成委員会を構成することが了承された．

３．各種委員会報告

・岡太和文誌編集委員長より，行動計量学の編集状況，および掲載論文の著作権について検討を開始したことの報告があった．
・繁桝欧文誌編集委員長より Behaviormetrika の編集状況について報告があった．
・柳井理事長より運営委員会での審議事項について報告があった．

４．その他

・平成6年4月から平成7年7月までの会員異動数（入会者：正会員50，準会員9，賛助会員1；退会者：正会員35，準会員1，賛助会員2）の報告があった．
・バックナンバーの販売価格を一部1000円とし，全巻一括購入については別に販売価格を設定することとした．
・統計関連学会の懇談会での検討内容の報告があった．

後援・協賛研究集会のお知らせ

○　IFCS-96（第5回国際分類学会議）

日本分類学会主催，文部省，日本行動計量学会後援による IFCS-96 が神戸市で開催されます．日本行動計量学会会員は，日本分類学会会員と同じ資格で参加できますので，ふるって御参加下さい．なお，大会の概要はインターネットでもご覧になれます．参加ご希望の方，講演・発表ご希望の方

は下記の連絡先にお問い合せ下さい.

テーマ：「データの科学，分類,関連手法」

内　容：基調講演，招待講演，一般講演，パネルディスカッション，ポスターセッション，コンピュータデモンストレーション

期　日：1996年3月24日～30日

会　場：神戸国際会議場
（〒650神戸市中央区港島中町）

Webサーバ　URL：
http://www.media.cst.nihon-u.ac.jp/IFCS96/

連絡先：IFCS-96 大会事務局
〒106 港区南麻布 4-6-7
統計数理研究所内
TEL : 03-5421-8739（馬場）
または 8741（大隅）
FAX : 03-3446-1695
e-mail : ifcs96@ism.ac.jp

○　チュートリアルセッション (IFCS-96)

IFCS-96のために来日する，データ解析，統計科学関連の著名な研究者による二つのチュートリアル・セッションをIFCS-96大会終了後に東京で開催します．関心のある方は上記IFCS-96大会事務局までお問い合せ下さい.

期　日：1996年4月2日(火)，セッション1
3日(水)，セッション2

会　場：日本マーケティング協会
（東京，六本木）

内容及び講師：

＜Session 1＞
テーマ：Multidimensional Scaling in Behavioral Science

講　師：P. Arabie (U.S.A.)
ラトガーズ大学教授，Journal of Classification 誌編集主幹
J. D. Carroll (U.S.A.)
ラトガーズ大学教授，北米分類学会会長，ＩＦＣＳ会長
J. C. Gower (U.K.)
オープンユニヴァーシティ教授
W. J. Heiser (The Netherlands)
ライデン大学教授

＜Session 2＞
テーマ：State of the Art in Classification and Clustering

講　師：H. H. Bock (Germany)
アーヘン大学教授，前ドイツ分類学会会長
Y. Dodge (Switzerland)
ヌシャテル大学教授
Bernard Van Custem (France)
グルノーブル・ヨゼフ・フーリエ大学教授
J. S. Ross (U.K.) ロザムステッド農事試験場主席研究員，英国分類学会会長

○　第12回ファジィ システム シンポジウム ー ソフトコンピューティングへの統合を目指して ー

主　催：日本ファジィ学会（SOFT: Japan Society of Fuzzy Theory and Systems）

期　日：1996年6月4日（火）～7日（金）

会　場：早稲田大学　国際会議場
新宿区西早稲田 1-20-14

照会先：山下　元（実行委員長）早稲田大学政経学部
〒169 新宿区西早稲田 1-6-1
TEL : 03-3203-4141 ext.3424
FAX : 03-3204-8957
鬼沢武久（プログラム委員長）
筑波大学構造工学系
〒305 つくば市天王台 1-1-1
TEL : 0298-53-5060

FAX : 0298-53-6471
e-mail : onisawa@esys.tsukuba.ac.jp

関連学会カレンダー

1996年3月29日（金）～30日（土）

第21回数理社会学会大会

会　場：信州大学

照会先：大会事務局
〒390 長野県松本市旭 3 - 1 - 1
信州大学人文学部文化情報論講座
遠藤　薫
TEL : 0263-35-4600 (ext. 3160)

1996年 4月 1日（月）

第4回ＩＲＴセミナー

会　場：東京大学駒場キャンパス 2 号館

照会先：繁桝算男
〒153 目黒区駒場 3-8-1
東京大学教養学部心理学教室
TEL : 03-5454-6267
FAX : 03-3485-0481
e-mail : kshige@sys.titech.ac.jp

1996年4月25日（木）～26日（金）

応用統計学会・日本計量生物学会
合同年次大会

会　場：慶応大学医学部北里講堂
東京都新宿区信濃町 35

照会先：〒106 港区南麻布 4-6-7
統計数理研究所　駒澤研究室
TEL : 03-3446-1501
FAX : 03-3446-1695

1996年5月15日（水）～17日（金）

日本計算機統計学会大会

会　場：広島大学大学会館
東広島市鏡山 1-4-5

入会手続き

学会では新入会員を広く募っています．詳しくは

〒113 東京都文京区本駒込 5-16-9
学会センター　C-21
(財) 日本学会事務センター内
日本行動計量学会係
TEL：03-5814-5810
FAX：03-5814-5825

までお問い合わせください．

学会誌論文投稿先

和文誌「行動計量学」

〒171 東京都豊島区西池袋 3-34-1
立教大学社会学部
岡太彬訓

欧文誌「Behaviormetrika」

〒153 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学教養学部心理学教室
繁桝算男

照会先：〒700 岡山市津島中 2-1-1
岡山大学環境理工学部環境数理学科内
日本計算機統計学会事務局

会員による著訳書

繁桝算男（1995.11）「意思決定の認知統計学」－行動計量学シリーズ 11－
朝倉書店　3,090円

会報原稿送付先

〒180 武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
成蹊大学工学部経営工学科
岩崎　学
FAX : 0422-37-3871
e-mail : iwasaki@is.seikei.ac.jp

（会報作成担当：岩崎　学・前田忠彦）